



# 柚木だより

発行  
自衛隊静岡地方協力本部広報室  
〒420-0821 静岡市葵区柚木366  
Tel : 054 (261) 3151

## 各地で入隊・入校激励会を開催



静岡県



伊東市



南伊豆町



長泉町



松崎町 自衛隊入隊者激励会



熱海市



伊豆市



伊豆の国市



小山町



御殿場市



函南町



三島市



富士市



静岡市



牧之原市



焼津市

## 令和元年度入隊予定者 各地に旅立つ



3月24日(火)、本部庁舎において武山駐屯地への入隊予定者20人の見送りを実施した。

雲一つない春空のもと、静岡県中部地区から陸上自衛隊一般曹候補生として入隊予定の若者たちが、これからの自衛官人生への希望と不安を胸に、家族らとともに続々と集まった。

宮川本部長は整列した入隊予定者を前に「国防や災害対処を担うという使命を自覚し、目標を持って訓練に励んでほしい。また、壁に当たった時は、一度自分の価値観を横に置いて、まずはやってみることが重要。苦しくなったら、隣にいる同期と支え合って乗り越えてほしい。今後の活躍を期待している」と激励の言葉を送った。

入隊予定者は、しばしの別れを惜しみ涙する母親や力強く見守る父親らの姿を見つめながら大型バスに乗り込み、家族や友人、本部職員、担当広報官からの盛大な拍手とエールを受け、武山駐屯地へと旅立っていった。

# 第39回 静岡音楽祭



1月25日(土)、グランシップ静岡(静岡市)で静岡県防衛協会主催の「第39回静岡音楽祭」が開催された。今年は「心奏(ハーモニー) 響け輝け心のメロディー」をテーマに、2部構成で行われた。

第1部は、この春県内から自衛隊へはばたく若人たちへ激励を送る場として「入隊・入校激励会」を開催。海上自衛隊東京音楽隊の中川麻梨子3等海曹による国歌独唱で始まり、静岡県防衛協会会長・鈴木与平氏や同協会名誉会長の川勝平太静岡県知事、国会議員、陸上自衛隊富士学校長、航空自衛隊航空教育集団司令部幕僚長から心温まるメッセージが送られた。

激励を受け、入隊・入校者を代表して海上自衛隊一般幹部候補生として入隊予定の清遼太郎君が、日本のために仕事をしたいという熱い決意と、家族をはじめこれまで育ててくれた故郷・静岡への感謝の言葉で挨拶した。

第2部は、陸上自衛隊第34普通科連隊らっぱ隊、県立清水南高等学校・同中等部管弦楽部、滝ヶ原駐屯地雲海太鼓、在日米陸軍軍楽隊、海自東京音楽隊が、それぞれの特色を生かした音楽の魅力と力を伝え、集まった約3600人の心を美しい音色で魅了した。

特に海自東京音楽隊は、全国高校サッカー選手権大会を制した静岡学園高等学校を称えての大会歌や天皇陛下御即位の奉祝曲などを演奏するとともに、アンコールで再登場した米陸軍軍楽隊と「星条旗よ永遠なれ」などを合同演奏し、聴衆と一体となって日米友好の絆を深めた。



第34普通科連隊らっぱ隊



清水南高中管弦楽部による「パブリカ」



会場を埋め尽くす来場者



滝ヶ原雲海太鼓



在日米陸軍軍楽隊



在日米陸軍軍楽隊



東京音楽隊の静岡出身隊員



海自東京音楽隊



日米合同のアンコール



1月28日(火)、天竜商工会本所で行われた同青年部主催の「被災・防災講習会」に星所長が講師として参加した。

星所長はまず、災害派遣などの現場で活動する隊員は、駐屯地や基地に残って待機している仲間がいるから活動に専念できると話し、自衛官同士の「絆」そして自衛隊は「ONE TEAM」であることを強調。東日本大震災や西日本豪雨などの災害派遣活動において、自衛隊は人命救助以外にも、輸送、入浴、給水、医療、瓦礫除去、音楽演奏等さまざまな任務を行っていたことや、医師や看護師である自衛官が活躍したことも紹介した。また、陸上自衛隊の初動派遣部隊(FAST-Force)が24時間態勢で待機しており、発災後、出動命令を受領してから約1時間以内に出勤し、災害現場へ向かう態勢を維持していると話した。講習会後半は、現場の臨場感を感じてもらうために、約15分間の東日本大震災での災害派遣活動の映像を放映。参加者は迫力とリアリティに引き込まれた様子であった。



最後に星所長は参加者に「家族・社会のまとめ役になってもらいたい」と伝えるとともに、更に自分自身や大切な人を守る力を備えるために、自衛隊のさまざまなノウハウが掲載されている『自衛隊防災BOOK』を紹介した。会場では実際に同書籍を参加者に回覧。手にした参加者は「じっくり読んでみたいです。書店で探してみます」と防災に対し、一層意識を高めた様子であった。

## 沼津 専門学校生が戦車に体験搭乗

沼津所は2月17日(月)、大原公務員医療観光専門学校沼津校の駒門駐屯地見学を支援した。同専門学校の芹澤照之校長から依頼があり実施したもので、この春2年生になる学生が参加した。

駐屯地に入った学生たちは陸上自衛隊の概要について説明を受けた後、国際活動教育隊を見学。国際平和協力活動のため世界各国へ派遣される隊員に対し、派遣地域に関する教育や活動に必要な各種実習を行なう部隊であり、このことを初めて知った学生たちは、これまでの自衛隊の国際貢献や隊員たちの活躍に興味津々な様子であった。

次に、機甲科隊員を教育する機甲教導連隊を訪問。現在装備されている74式、90式、10式各戦車と16式機動戦闘車を実際に見学した。学生からは戦車の価格や走行速度、操縦に必要な免許等について次々と質問があり、その関心の高さがうかがえた。

最後は、駐屯地見学の目玉である第1戦車大隊の74式戦車に6人ずつ体験試乗。学生たちはエンジンやキャタピラー音と予想以上のスピード感に圧倒されながらも、安全確保に済々と努める隊員たちの姿に目を輝かせながら戦車の性能を体感していた。



## オリンピック日本代表を目指す 静岡出身隊員を激励

静岡所は2月22日(土)、静岡東高等学校の笠井義明校長と同校生徒会長・和波志栞さんの自衛隊体育学校訪問に同行した。

現在、体育学校には静岡東高校卒業生で、水泳種目200m自由形で東京オリンピック代表入りを目指している高橋航太郎3等海曹が在籍している。

笠井校長と和波生徒会長は 体育学校副校長の石津吉康1等陸佐から学校の概要説明を受けた後、実際にボクシングやレスリングなど4種目の練習風景を見学。それぞれの種目で活躍する静岡県出身隊員一人ひとりを激励した。

その後、いよいよ高橋選手が練習に励む屋内プールへ。国際競技が可能なプールには、水族館のように真横から水中を目視できる小窓が四方に設置されており、そこから黙々と練習に取り組む高橋選手のひたむきな姿を間近で見ることができた。

練習終了後、笠井校長と和波生徒会長は直接高橋選手と懇談し、高橋選手の高校時代の思い出や自衛隊体育学校へ進んだきっかけなど、さまざまな話題に花が咲いた。最後に、母校の後輩代表として和波生徒会長から記念品とエールが贈られ、受け取った高橋選手は「期待に応えられるように頑張りたい」と、代表獲得に向けた熱い思いを語った。



# 転出

▽ 目黒・航空自衛隊幹部学校業務部庶務課長 行(一)7 坂下 仁志 (副本部長)

▽ 大宮・大宮駐屯地業務隊  
3等陸佐 松浦 文俊 (総務課)

▽ 富士・第128地区警務隊  
陸曹長 小川 靖史 (三島所)

▽ 富士・富士学校諸職種協同センター  
1等陸曹 砂子 康則 (浜北所)

▽ 横須賀・横須賀基地業務隊  
1等海曹 鈴木 康夫 (浜松所)

▽ 静浜・航空気象群  
2等空曹 大村 有希 (静岡所)

▽ 防衛大学校  
行(一)6 林 和彦 (援護課長)

▽ 市ヶ谷・東京地方協力本部  
行(一)4 寒河江 靖 (援護課)

▽ 市ヶ谷・陸上幕僚監部  
行(一)4 佐々木 誠二 (総務課)

▽ 愛媛地方協力本部  
行(一)3 水塚 敦史 (広報室)

▽ 市ヶ谷・情報本部  
行(一)3 古市 雪恵 (募集課)

▽ 市ヶ谷・統合幕僚監部  
行(一)2 北里 昌博 (援護課)

# 転入

▽ 第25代 副本部長

行(一)7 大串 秀樹

前職：防衛大学校  
総務部会計課経理室長



4月1日付で静岡地方協力本部副本部長を命ぜられ着任いたしました。

神奈川県横須賀市出身で、これまで主に海上自衛隊の部隊で勤務してまいりました。地方協力本部の勤務や静岡における生活は初めてですので、とても新鮮な気持ちであり楽しみでもあります。

これから魅力ある自衛隊を発信していくよう努力してまいりますので、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

▽ センター長 3等陸佐 空岡 真二  
(板妻・板妻駐屯地業務隊)

▽ 総務課 1等陸尉 早川 勉  
(板妻・第34普通科連隊)

▽ 清水所 2等陸曹 中島 法史  
(豊川・第49普通科連隊)

▽ 募集課 2等陸曹 黒木 清和  
(富士・富士学校特科部)

▽ 静岡所 3等空曹 熊谷 光瑠  
(静浜・航空気象群)

▽ 援護課長 行(一)5 新田 知典  
(十条・補給統制本部)

▽ 援護課 行(一)4 椿谷 周一  
(市ヶ谷・東京地方協力本部)

▽ 総務課 行(一)3 新垣 さおり  
(市ヶ谷・防衛装備庁)

▽ 総務課 行(一)3 植崎 隆史  
(朝霞・東部方面総監部防衛課)

▽ 広報室 行(一)3 佐藤 綾香  
(健軍・健軍駐屯地業務隊)

▽ 募集課 行(一)2 深水 聡  
(目黒・教育訓練研究本部)

▽ 総務課 行(一)1 幡基 良  
(市ヶ谷・中央業務支援隊)

# 部内異動

▽ 援護課 3等陸佐 岡村 伸一  
(富士地域援護センター長)

▽ 援護課 1等陸曹 大石 哲也  
(清水所)

▽ 浜北所 1等陸曹 山田 明  
(総務課)

▽ 浜松所 1等陸曹 武藤 哲也  
(募集課)

▽ センター 2等陸曹 佐藤 吏  
(援護課)

▽ 三島所 2等陸曹 松永 栄幸  
(センター)

▽ 援護課 行(一)1 樋口 裕昭  
(総務課)

# 退職

▽ 募集課 行(一)2 池田 幸一郎

## 静岡地本 4、5、6月 主要行事予定

### 4月

上旬…入隊引率・入隊式  
1日…定期異動  
8~9日…陸士就職補導教育(駒門)  
15~16日…  
陸士就職補導教育(滝ヶ原)  
19日…予備自衛官1日間訓練  
(本部)  
22~24日…陸士就職補導教育(板妻)

### 5月

9~10日…一般幹部候補生1次試験(延期)  
17日…予備自衛官1日間訓練(本部)  
23日…一般曹候補生1次試験(延期)  
25日…静岡県防衛協会総会

### 6月

2日…援護懇話会総会  
9日…ライフプラン教育(滝ヶ原)  
10日…ビジネスマナー教育  
(滝ヶ原)  
13日…自衛官候補生試験  
16日…ライフプラン教育(駒門)  
17日…ビジネスマナー教育(板妻)  
23日…ビジネスマナー教育(駒門)  
27~28日…一般曹候補生2次試験(延期)